

令和5年度(2023年度)金沢大学法科大学院入学試験問題

【C日程入試】法律専門科目試験

憲法 採点基準

問題1 20点

取材源秘匿の意義につき、それが取材の自由に対する憲法上の保護の上でどのような意義を有するかについて正確に言及がなされている場合は5点を配点する。また、取材源の秘匿と公正な裁判の実現との衡量審査につき、関連判例または学説の見解に基づき、適切な判断枠組みを提示できている際には5点を配点する。その上で、本問における取材源の秘匿が、憲法上保護に値する職業の秘密であるか否かについて、上記の判断枠組みに基づき明確な論証がなされている場合には10点を配点する。加えて、取材源秘匿が拒否されうる例外事例に関する記述がある場合には、3点を限度に加点する。

問題2 5点

上乗せ条例の定義につき、適切に論じられている場合には3点を配点する。また、最大判昭和50年9月10日刑集29巻8号489頁等の判示に基づき、上乗せ条例の制定が許容されうる際の要件に関して、明確な説明がなされている際には2点を配点する。